

■ 会長の時間

伊達 紫 会長



皆さん、こんにちは。
本日は、新体制になって2回目の例会で
ガバナー公式訪問となっております。
国際ロータリー第2730地区 笹山義
弘ガバナー、戸高勝利ガバナー補佐、随
行いただきました飯山竜太様、猛暑の
中、お越しいただきまして、ありがとうございます。
全会員に代わりましてお礼を申し上げます。

先に行われました懇談会におきまして、クラブ3カ年計
画や平和フェローシップなど、貴重なご意見をいただきました。
今後のクラブ運営に活かしていきたいと思えます。

さて、このところ、毎週のように、いろいろな地区や地域で
夏祭りが盛んにおこなわれております。こんなにお祭りが
あったんだとあらためて思うところです。私の住んでいる地
区でも、大人たちのフォローの下、子供たちが神輿を担いだり、
地区の伝統行事を守っている姿には、ほっこりします。人口
減少と共にこのような行事が消滅しないよう、住みよい社
会を作っていかなければならないと強く感じました。

このような楽しい行事に水を差すように、新型コロナ感染
者も増加傾向にあり、附属病院では面会禁止となりました。
予防に努め、罹ったらしっかり休み、そして、2024年の夏を
ロータリーのマジックで楽しんで参りたいと思えます。

皆さまにとって、今日一日が健やかなる日となりますよ
う、また、笹山ガバナーには忌憚のないご意見をいただきま
すようお願いし、会長の挨拶といたします。

笹山ガバナー、本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

■ 幹事報告

羽佐間 尚久 幹事



1. 世界ポリオデーフォトコンテスト
世界ポリオデーイベントの活動写真
をテーマとしたフォトコンテストの
募集案内がきています。
ご興味のある方は、ぜひ応募してくだ
さい。締切 2024 年 11 月 25 日

2. あなたのロータリーマジックを教えてください。
ロータリー活動の中で体験したロータリーマジックを
200 字程度で教えてください。皆様、是非ご応募ください。
締切 2024 年 8 月 31 日

3. ロータリー大阪・関西万博 開幕祭が開催されます。
日時 2025 年 4 月 12 日 開会式 16:30~
懇親会 18:30~
詳しくは、事務局までお問い合わせください。

4. 第 136 回例会 募金報告

ロータリー財団 5,734 円
米山奨学金 7,114 円
皆様、ご協力ありがとうございました。

以上です。

■ ガバナーアドレス

2024-25 年度ガバナー 笹山義弘 ガバナー



1. 公式訪問の意義

ガバナー公式訪問は、ガバナー自身が地区内の各ロータ
リークラブを、個々のクラブまたは複数クラブのグループ
として、以下のような目的をもって訪問するものである。

- ・ロータリーの重要な問題に焦点を当て関心を持たせる
- ・少数クラブ、あるいは問題を抱えたクラブに特別な関
心を払う
- ・奉仕活動参加へのロータリアンの意欲をかきたてる
- ・クラブの定款と細則が、ロータリーの組織規定を順守
していることを確認する
- ・顕著な貢献をした地区内のロータリアンを、ガバナー
自ら表彰する
- ・ガバナーあるいはガバナー補佐は、公式訪問の際にク
ラブ目標への進展状態を確認すべきである。訪問は、
ガバナー出席の効果が最も高まるよう、加盟認証状伝
達式、入会式、新会員オリエンテーション・プログラム、
表彰式、特別プログラム、ロータリー財団行事、都市
連合会合などの行事とあわせて行うべきである。多ク
ラブ合同、あるいは都市連合会会合においては、ホス
トクラブに限らず、全参加クラブを挙げての出席を強
調すべきである。ガバナーはまた、地区がクラブをよ
り効果的に支援する方法について、クラブからの意見
を求めるべきである。

2. ロータリーとは（入会してない地域のリーダーに向けて）

※ロータリーについて、あなたがストーリーテラーです。

<ロータリーの活動>

切迫した問題が山積みとなっているこの世界で、私たちは単なる傍観者ではなく、自ら行動する責任があると考えています。

ロータリーは以下の分野に重点を置いて活動しています。

「七つの重点分野」

- ・平和の推進
- ・疾病との闘い
- ・水と衛生
- ・母子の健康
- ・教育の支援
- ・地元経済の成長
- ・環境の保護

<ロータリーの使命>

ロータリーの使命は、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することです。

<ロータリーのビジョン声明>

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

3. 2024-2025 年度ステファニー A. アーチック RI 会長テーマ

「The Magic of Rotary」（ロータリーのマジック）

4. 2024-2025 年度 地区方針

「ロータリーのマジックで ロータリーを楽しもう」

- ・ポリオ根絶
- ・平和を優先する
- ・各クラブがマイロータリーのクラブセントラルに計画目標を100%インプットする。

行動計画を反映した目標をクラブセントラルに掲載することにより

- ① 参加者の積極的なかわりを促す。
- ② 参加者の基盤を広げる
- ③ クラブのインパクトをより大きくする
- ④ クラブの適応力を高める

5. 3 Year Lolling Targets/Plan について

行動計画の4つの優先順位事項に沿った形で2024.7.1からの向こう3年間の目標を定め毎年、向こう3年間の計画を見直していく。

6. ジャパンポータルサイトの活用

www.japanrotary.club



7. 地区基本方針と重点事項

- (1) 会員基盤の維持と会員増強
- (2) クラブの文化を醸成支援
- (3) 奉仕活動への支援（職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕・RAC・IAC）
- (4) 公共イメージの向上
- (5) ロータリー財団への理解と実践
- (6) 米山記念奨学会への協力

<クラブ優秀賞チャレンジへの推奨>

クラブがクラブ優秀賞の目標に取り組むことで、ロータリーのマジックが生まれ、ロータリーをみんなで楽しむことができます。全クラブがクラブセントラルに目標を登録してクラブ優秀賞にチャレンジし、13項目以上の目標達成を目指しましょう！

8. ラーニングセンターの活用

マイロータリーのラーニングセンターの新しいカタログです。QRコードからページを開いて皆さんの役職に合わせてラーニングをチャレンジしてください。



9. いつでもどこでも「ロータリー」

手持ちの携帯電話に、マイロータリー、ガバナー月信、ロータリーの友、2730 地区ホームページ、ジャパンポータルサイト等をホーム画面に張り付けて、いつでも閲覧できるようにしましょう。

■ クラブフォーラム

クラブの奉仕への取り組み状況と意識について

国際奉仕青少年奉仕委員会 金岡保之委員長



「トーゴ共和国に於ける
人道支援」

◆トーゴ共和国について

- ・1960年にフランスから独立・建国
- ・西アフリカに位置する後発発展途上国
- ・宮崎大学との交流は2017年から始まり、2019年からホストタウン登録した日向市との交流を本格化
- ・2020年に宮崎アカデミーロータリークラブが2つのプロジェクト開始

◆概要

- ・RI 会長 ステファニー・A・アーチック氏が、ドミニカ共和国での浄水器の支援で少年が言ったもう「一度魔法を見せて」から、テーマの「ロータリーのマジック」となった。
- ・私たちのクラブも微力ながら西アフリカのトーゴの安全な水の供給やトイレ整備などの支援を行ってきた。
- ・私の会長年度2020-21年度には、2つの人道支援を行った。
 - ① 1、日向市からの協力を得て循環型の衛生トイレの「エコサントイレ」を男女用2基の整備をした。（ロータリーの友2024年3月号「水と衛生」特集に掲載）
 - ② 2、地区補助金を活用して、トーゴ共和国バダベ村バダベC公立小学校教育支援事業を行なった。小学校で井戸掘削をはじめ、クラスルームの建設、図書寄贈を行った。

◆予算

- ・総予算：706,034 円
- ・内訳
 - ・宮崎アカデミーロータリークラブ 約 10 万円
 - ・RI 第 2730 地区補助金 約 57 万円
 - ・一般社団法人日本トーゴ友好協会 約 3 万円

◆事業概要

(1) 集会施設（クラスルーム）建設

村の小学生の数は約 500 人で十分な教育の場が不足しており、学校の校舎は古く屋根が朽ちていて雨漏りがすることなどの課題があった。そこで、50 人程度の小学生が収容できる集会施設（クラスルーム）を建設した。

(2) 井戸掘削

小学校に井戸などの設備がないため、飲料用はもちろんのこと、コロナ禍で手洗いの水がない。また、寒期などの時期によっては遠方に水汲みに行くことで教育の機会が奪われている現状があった。そこで、小学校に新たに井戸を掘削して、500 人の小学生に安全な水を常時供給することができ、また教育の時間や機会を提供した。

(3) 図書寄贈

小学校では、教育教材としての教科書や図書が慢性的に不足している。その現状改善の支援のために、教科書や参考書としてのフランス語（公用語）の図書を 200 冊寄贈した。

◆成果

- ・2730 地区、現地 NPO や RC、駐日大使館などの協力を得て、コロナ禍の遠いアフリカの事業を、ほぼ予定通り完了することができた。
- ・現地小学校代表者からも感謝の言葉を頂いた。「雨の時の授業ができるのと、子供達が水汲みの労働から解放されて、就学できるためこの事業に対して感謝しています」

クラブの強味と弱味について

明石 良 直前会長



「アカデミーロータリークラブの取り組み」

宮崎アカデミーロータリークラブにおける強みと弱みは、特に「強み」はこれまでの取り組みから見ても以下の内容が挙げられる。

1. 留学生への支援やグローバル地区補助金・補助金
 - ・トーゴ共和国への教育支援事業
 - ・アフガニスタン元留学生支援
2. にしたち・子ども食堂応援プロジェクト
3. 女性会員の活動が顕著
4. 卓話の話題が豊富
5. 豊富な職場訪問の場所がある
6. 平和フェローへの挑戦

留学生への支援やグローバル地区補助金・補助金では、トーゴ共和国への教育支援事業において、金岡会員を中心に総費用 1,028,700fcfa(1557 ユーロ) で日本円にして 200,000 円を「安全な水供給事業（井戸修復）・トイレ整備事業」で行なった。また、アフガニスタン元留学生支援については宮崎大学農学部と共同でコロキウム開催等を行い、その実情についても理解を深めた。

にしたち・子ども食堂応援プロジェクトでは、武井会員と勢井会員が中心となり、合計 13 回の子ども食堂を開催し、また、寄付金制度も導入して活発な活動を行なった。

当該クラブでは会員の卓話の話題も豊富であり、2020 年から開催している「キャリアデザイン講座」を基本にして、会員が自分の得意分野での卓話を実施することを行い、近々ホームページにも掲載し、他クラブへの出張卓話で協力したいと考えている。

また、大学の強みでもある毎年のオープンキャンパスを開催していることから、その際の「キャンパスツアー」を職場訪問の紹介地として他クラブへ宣伝して活用できるようにしたい。

一方、当該クラブでの弱みは、クラブ組織の一体感を感じることができず、出席率も低いことが挙げられる。今後は、この点を考慮して、より良いクラブを作ると共に、積極的に社会奉仕に努めていきたいと考えている。

■出席報告

出席向上・会員増強選考委員会 辻 清 委員長



第 137 回例会

会員数 36 名
出席者 27 名
欠席者 9 名
出席率 75%

第 136 回例会修正

会員数 36 名
出席者 22 名
メイクアップ 1 名
修正出席者数 23 名
修正出席率 63.89%